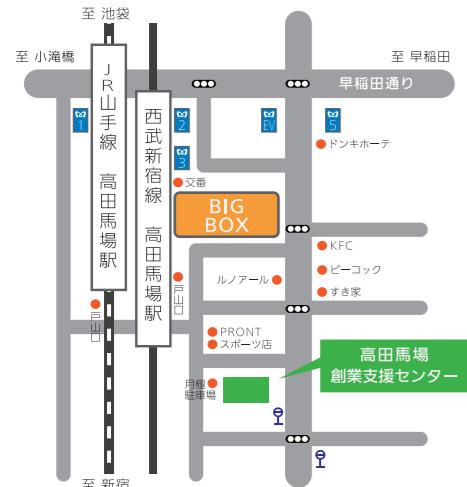


# 新宿区立高田馬場創業支援センター

## 創業事例集

### 新宿区立高田馬場創業支援センター

#### アクセス



169-0075  
東京都新宿区高田馬場一丁目32番10号  
TEL: 03-3205-3031  
FAX: 03-3205-1007  
HP: <http://incu.shinjuku-center.jp/>  
E-mail: incu@shinjuku-center.jp

- JR山手線 高田馬場駅 戸山口より徒歩約2分
- 西武新宿線 高田馬場駅より徒歩約3分
- 東京メトロ東西線 高田馬場駅より徒歩約5分
- 都営バス 高71(高田馬場駅前一九段下) 高田馬場駅通り 下車
- 関東バス 百01(高田馬場駅→東中野駅東口) 高田馬場駅通り 下車

指定管理者 有限会社そーほっと

#### ホームページ・Facebookページ

ホームページや Facebook ページで、外部の方にもご参加いただけるセミナーの情報や補助金などの公的支援情報、創業相談デスク(無料)の日程を発信しています。ぜひご活用ください。



編集・発行 新宿区文化観光産業部産業振興課  
東京都新宿区西新宿六丁目8番2号 BIZ新宿  
電話 03-3344-0701  
FAX 03-3344-0221

この印刷物は、業者委託により1000部印刷製本しています。  
その経費として、1部あたり324円(税込み)がかっています。  
ただし、編集時の職員人件費や配送経費などは含んでいません。

印刷物作成番号: 2016-28-2803 平成29年3月発行

## 施設長あいさつ

高田馬場創業支援センターは、新宿区が区内産業の活性化を目的として平成23年10月に開設したインキュベーションオフィスです。これまでに、新宿区内での事業立ち上げを目指す100名近い方々に利用いただきました。

この度、開設5周年を機に、事業拡大による雇用創出を新宿区内で実現している方、目指している方を紹介する「高田馬場創業支援センター創業事例集」を発行する運びとなりました。創業すると、楽しいことや嬉しいことばかりではありませんが、いずれも果敢に前向きに取り組まれている方々です。

創業時は「なにをやるか」ではなく、「誰がやるか、誰とやるか」ということのほうが大切ですが、そのことが伝わるような内容にまとめることができたと考えています。これから創業を目指す方、創業して間もない方に、少しでもお役に立てれば幸いです。

本事例集をまとめることができたのも、これまで当センターに関わっていただいたすべての皆さまのおかげです。今後とも、当センター事業にご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願ひいたします。

2017年(平成29年)3月

新宿区立高田馬場創業支援センター  
施設長 田中 健一郎  
中小企業診断士



# 新宿で、立ちあがる、走りだす、はばたく。

## 高田馬場創業支援センターについて

高田馬場創業支援センターは、新宿区内でこれから創業を目指す方、創業して間もない方を対象としたインキュベーションオフィス(シェアオフィス)です。オフィススペースの提供や創業相談などのほかに、外部の方も参加可能なセミナー、創業に関する相談会などを開催しています。

創業時は、事業そのもののほかに、税務や労務、法務などが必要な手続き、融資制度や補助金制度の情報収集など、慣れないことにも取り組む必要があります。また、独自にオフィスを構えると、オフィス家具、インターネット回線や複合機の用意、郵便物の受け取り、掃除などの費用や労力などのコストがかかりことになります。

当センターでは、創業時に必要な情報や経験などの「ソフト」と、オフィススペースや設備などの「ハード」をシェアすることで、事業を加速するために必要な環境を提供しています。また、事業を進める上で生じる疑問や事業計画書の作成などを相談できるインキュベーション・マネージャーが常駐しており、ささいなことでも気軽に相談していただくことができます。

さらに、オフィスは、他の利用者やスタッフと同じ空間をシェアして仕事をするワークスペースであるため、コミュニケーションが発生しやすく、相互に刺激し合っていただける環境となっています。交流促進のために利用者間の交流会も定期的に開催しています。

「新宿で、立ちあがる、走りだす、はばたく。」  
これまでの経験や人脈などのリソースを活かし、今日よりも良い明日を迎るために、ご自身で事業を立ち上げ、走りだす。そのような方にはばたいていただけるよう、スタッフ一同、努めています。



## 新宿区高田馬場で事業が加速する12のポイント

- |  |                                   |   |
|--|-----------------------------------|---|
| 高田馬場駅徒歩2分<br>駅近の立地で<br>都心エリアへも<br>アクセス良好 | 個別ロッカーを提供<br>郵便物などの<br>受取代行       | 経験や体験、情報を<br>シェアするための<br>交流会を毎月開催       |
| 税務・労務・法務など<br>各種専門家による<br>アドバイス          | 複合機、モニター、<br>冷蔵庫、給茶機などの<br>設備も充実  | 広いデスク、良質チェア、<br>法人用ネット回線で<br>快適な作業空間を提供 |
| セミナーで新しい<br>知見を習得                        | 登記住所として<br>「新宿区」の住所が<br>利用可能※1    | 共用文具や雑誌、<br>新聞などのアメニティが<br>充実           |
| 打合せスペースや<br>セミナースペース完備                   | 常駐スタッフによる<br>融資や補助金の<br>申請サポートが充実 | チーム(1社複数人)<br>での利用も可能※2                 |

(※1) 利用期間終了後は登記住所の変更が必要になります。(※2) 法人の役員に限り利用が可能です。従業員は含まれません。

## ■ 施設のご案内



シェアオフィス (約49m<sup>2</sup>)



会議室兼商談室 (約38m<sup>2</sup>)



交流コーナー (約17m<sup>2</sup>)

## ■ 利用のご案内 施設使用料 10,000円／月

### 【利用対象者】

次の要件にいずれも該当する個人又は中小企業者(中小企業基本法(昭和38年法律第154号)第2条第1項各号に掲げる方)が対象です。

- ①新宿区内において、創業又は事業の経営改革を予定していること。
- ②創業等の計画が具体的で、かつ実現可能性があること。
- ③施設の利用期間の終了後、新宿区内において引き続き事業を行う意思があること。
- ④住民税・事業税等の滞納をしていないこと。
- ⑤別に定める利用条件を遵守すること。

利用にあたっては書類及び面接により、計画の具体性・実現可能性等を審査します。

### 【利用期間】

利用承認日から6ヶ月間(ただし、利用期間は6ヶ月を超えない範囲で3回まで更新可、最長2年間)

### 【利用時間/開館日】

8:30～24:00／年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)を除き、年中無休。

### 【募集】

随時、利用者を募集しています(欠員がある場合に限ります)。

### 【見学・利用相談・申し込み】

見学や利用相談は随時受付中です。電話かホームページよりお申し込みください。

利用を希望される方は、施設を見学の上で利用説明を受けてください。

※個室オフィス利用時は、20,000円が別途加算されます。  
※共用スペース使用料を含む。別途、複合機の利用料が必要です。

アップシードレジデンシャル株式会社

代表取締役 岡野 大助さん

「様々な人のきっかけの種を生みだしていきたい」。きっかけの種をまき、つながりを拓げる企業、アップシードレジデンシャル株式会社。不動産仲介を中心にリフォームなどの不動産関連事業も手がけ、新宿区四谷と文京区水道橋に2店舗を展開中です。大学時代の友人2人で創業した若い会社は、従業員と一緒に成長していくことに注力しています。



#### 創業しようと決めたきっかけは何ですか？

大学在学中からビジネスの世界に飛び込み、20代半ばには別の不動産会社で取締役を務めていました。事業規模を拡大させる経験、従業員の採用や教育、人事などの組織づくりをしていく経験などを積むことができ、経営に関する基本的なことはその時期に習得しました。そこで得た経験を生かし、自分が理想とする会社組織をつくりあげるために自ら創業し、アップシードレジデンシャル株式会社を設立しました。共感できる仲間を増やし、顧客やパートナーの方と一緒に成長できるチーム(会社)にしていきたいです。

#### 創業する際に大変だったことは何ですか？

従業員の採用と育成が本当に大変で、これは永遠に変わらないと思います。共に成長するという企業理念を大切にしたいので、中途採用だけでなく創業1年目から新卒採用にも取り組んでいます。初年度は2名、2017年4月にも2名の新入社員を迎え入れます。新卒で弊社を選んでくれた従業員が成長していく姿を見ていると、本当に新卒採用をして良かったと思います。もちろん中途採用にも力を入れていて、当社のリソースを使って成長したいという方と共に

歩んでいきたいです。現在は8名の従業員と一緒に仕事をしています。

#### どのような経緯でパートナーと一緒に創業することになったのでしょうか？

一緒に創業した取締役の千葉は、新卒で入社した建設資材の商社に勤めた後、司法書士事務所で働いていました。社会人になってからは別々の道を歩んでいたのですが、20代後半になり将来の方向性を考えていた頃、一緒に飲む機会が増え、二年間ほどかけてお互いに理想を語り合ううちに「じゃあ一緒に事業をやろう！」ということに。最高のパートナーと一緒に事業を開始することができました。

店舗のオープン時には別に社員が2名参画してくれて4名体制だったのですが、全員が以前からの知り合いです。新会社の目指したい方向性を話していく中で、一緒に働きたい、一緒に成長していきたいと思える、思ってもらえるメンバーだけでスタートしました。

#### 新宿区を事業拠点にしようと思ったのはなぜですか？

起業前に新宿区内で仕事をしていた期間が長く、お世話に

なった人が多かったことが大きいです。高田馬場創業支援センターも、お付き合いのあった東京三協信用金庫さんに紹介していただき、利用することにしました。創業する際は、私のことを知ってくれている方が多い場所でやったほうが良いと考え、事業をするなら新宿区内と決めていました。一店舗目を四谷にしたのは、四谷駅前の再開発が予定されていたことと、新宿区と千代田区・港区・渋谷区との境目で、今後の多店舗展開をしていくときに、足がかりにしやすいと判断したからです。

#### 高田馬場創業支援センターを利用されていかがでしたか？

高田馬場創業支援センターを利用することによって、職員の方や様々な事業に取り組まれているほかの利用者に出会えたことが良かったです。自分の得意分野である不動産以外のこと、自分の経験だけでは知ることができないことを知る機会が得られたので、大変刺激を受けました。私の分からないことを他の利用者に聞いたり、逆に不動産のことを相談されることもありました。新しい利用者とも出会いたいので、利用終了後も交流会に参加しています。

#### 今後の事業展開、ビジョンについて

今は不動産賃貸と売買の仲介が中心で、不動産管理業務やリフォーム、不動産に関する法務手続きにも対応できるよう、司法書士でもある千葉が司法書士事務所も手がけています。ただ、この数年間で不動産仲介業は大きく変わってきています。「良い物件を紹介しました、はい終わりです」というような時代ではありません。借りたい方の「新生活のきっ



かけづくり」に引き続き取り組みつつ、不動産オーナーがお持ちの資産価値を高めるサポートなども提供することで、オーナーの方とも新しい関係性を作りたいです。

#### 創業を目指している方にメッセージをお願いします

創業して思うのは、決して受け身にならないこと。自分からアクションしていくことが大切です。受け身だと、上手くいくことも上手くいかなくなります。世の中にあるほとんどの仕事は他の人でもできることなので、その中でどうアクションして、お客さんから選ばれるような自分を作っていくことが重要ではないでしょうか。

**Profile** アップシードレジデンシャル株式会社  
代表取締役 岡野 大助  
2014年5月  
高田馬場創業支援センター利用終了



早稲田大学在学中から不動産仲介業や飲食店などを経験。取締役を務めた不動産会社では多店舗展開の中心的役割を担い、得意分野の営業だけではなく人材教育や採用にも携わる。2014年4月にアップシードレジデンシャル株式会社を大学の同級生だった千葉将人さんと設立し、新宿区四谷に不動産店舗をオープン。2015年には水道橋に2店舗目と司法書士事務所をオープンし、現在に至る。

所在地： 東京都新宿区四谷 一丁目7番地2 第2鹿倉ビル2階  
HP : <http://www.upseed.co.jp/>

新宿区立高田馬場創業支援センター  
施設長  
中小企業診断士  
田中 健一朗



#### 高田馬場創業支援センターからのコメント

岡野さんは不動産分野での経験が長く、不動産に関する相談などを高田馬場創業支援センターからもお願いしています。組織づくりや事業拡大について、我々も学ぶ点が多く、他の利用者と共に刺激を受けています。創業当初から新卒採用に取り組み、法人設立の翌年には2店舗目もオープンされており、今後の事業展開に期待しています。

株式会社 Studio947

代表取締役

## 狩野 祐東さん

デザイナー、エンジニアであると同時に、ITなどの技術書籍を多数執筆する狩野さん。出版不況といわれる中、多数の書籍で重版の実績がある人気著者です。大学卒業後、留学、就職、二度のフリーランス経験を経て、高田馬場創業支援センター利用期間中に法人設立を準備しました。教育機関が多い新宿区の立地を生かした人材確保が次の目標です。



## 創業しようと決めたきっかけは何ですか？

早稲田大学を卒業後、3年半アメリカ・サンフランシスコに留学し、UI(ユーザーインターフェイス)デザインを学びました。帰国後、留学時の同期に誘われ、Web制作会社で勤務することに。その1年後に動的なWebコンテンツを作成するソフトであるFlashの書籍を作るのでサンプルを作って欲しいという依頼を受け、それをきっかけに独立することにしました。しかし、会社員とは異なり、受注の有無で収入が大きく左右されるフリーランスの生活があまりに不安定で再度就職することに。ところがその会社で所属していた事業部の閉鎖などに遭い、3年間のブランクを経て再度独立することにしました。前回独立した際の経験や様々な転職活動をする中で、自分のスキルを生かし、仕事ができる環境を自分で作りたいと思ったのが動機です。

## 創業する際に大変だったことは何ですか？

仕事をしていく上で、人とのつながりをどう作るかは本当に大変で、今でも困っていることの一つです。IT関係の仕事が多いこともあり、人とのつながりがないと新しい情報や業界の動向が入ってこなくなります。そのため、常に人とどう

つながるかについて考えています。他にも、創業することであることや悩むことはたくさんあります。事業計画書が書けないとダメなのか、何か新規性がある事業をしないといけないのか、事業規模が大きくなってきて人を雇う場合はどうすればよいのか、雇われる方に経験を積んでもらうにはどうしたらよいか。挙げだすとキリがありませんが、自分の中で折り合いをつけて前に進んでいきたいと思います。

## 初めての仕事はどのように獲得されたのでしょうか？

フリーランスとして初めて受注した仕事は、技術書籍のサンプルを作成することでした。きっかけは、今も仕事のパートナーである妻が自分の書いたイラストをホームページに掲載していて、編集者の方から発注の連絡が入ったことです。彼女に技術のことは分からなかったので、私がサンプルの作成と執筆を行うことになりました。本当にたまたまのことです。二度目に独立した際は、執筆の面では以前から間が空いていたので、編集者に対して出版企画の売り込みを積極的にしました。一度目に独立したときは受け身だったので、その反省を踏まえてのことです。一方、制作の業務面ではあまり営業をしておらず、知り合いの紹介を中心にやっています。

## 新宿区を事業拠点にしようと思ったのはなぜですか？

賑やかな街が好きで、留学していたときはサンフランシスコのダウンタウンに住んでいました。賑やかな街が近くで、土地勘があったということで、帰国後の住居を新宿区に決めてから、ずっと新宿に住み、新宿で仕事をしています。自宅が新宿区内なので、事業拠点も近くにしたというのが一番の理由です。あと、取引先が多いということもあります。フリーランスや起業家といった自分と近い立場の人と多く出会える空気感があることもいいですね。また人材を採用しようと考えているのですが、母校の早稲田大学が近くにあることも採用面でプラスだと思っています。

## 高田馬場創業支援センターを利用されていかがでしたか？

ひと言で言うと、非常に良かったです。創業して頑張っていることをしている、自分に近い立場の人たちがいる。これまでにない刺激を受けました。同世代や同じ業界の人だけだと、視野が狭くなりがちですが、そうでない空間であることが良かったと思っています。また、創業する際には必要な手続きや知っておくべき制度がありますが、一人でやっていると、それらを知る機会がないわけです。そのようなことを知ることができる機会があることや、相談に乗ってくれるスタッフが常に身近にいることが良かったですね。

## 今後の事業展開、ビジョンについて

直近では人を雇用することです。以前は事業規模を大きくすることには全く興味がなかったのですが、長年一人でやっていると、一定の事業規模でないとできないことがあると分かってきました。そのため人材確保を急いでいます。事業内容としては、今取り組んでいることを拡張した内容を検討中です。ITの技術書籍を書いているので、コンピュータ関係の教育プログラム開発などを考えています。類似の取り組みも多いので、じっくり検討しているところです。

## 創業を目指している方にメッセージをお願いします

いわゆるクリエイターの業種は、昨今フリーランスとして独立しやすい環境が整っていると思います。ただ、独立することと、継続・発展させることは根本的に違うと思っています。

## 高田馬場創業支援センターからのコメント

狩野さんは14冊ものIT技術書籍を執筆され、重版もかかる人気著者です。出版の度に献本していただき、目に見える成果を他の利用者の方にも示していただき、刺激になっていたと思います。フリーランスとして実績を積まれ、事業拡大を目指すきっかけとして高田馬場創業支援センターをご利用いただき、法人化を決断されました。現在の事業領域の周辺事業への進出を検討されており、今後の事業展開に期待しています。



す。特にクリエイター業の場合、アウトプットの一部に「表現する」ことが含まれるため、作ったものに対する他人の評価が「自分の人格に対する評価」に聞こえてしまい、怖くて前に進めない時期が私にはありました。そういう怖さを振り切るタフさと、自分の道を自分で切り開く行動力が大事なのだな、と今は思っています。

## Profile

株式会社 Studio947

代表取締役 狩野 祐東

2016年2月  
高田馬場創業支援センター利用終了

Web／アプリケーションUIデザイナー、エンジニア、テクニカルライター。大学卒業後アメリカ・サンフランシスコに留学、UIデザイン理論を学ぶ。Webサイトやアプリケーションのユーザーインターフェースデザイン、インターフェースコンテンツの開発を数多く手がける。主な著書に『HTML5&CSS3デザインレシピ集』(技術評論社)、『確かな力が身につくJavaScript超入門』(SBクリエイティブ)、『スラスラわかるHTML&CSSのきほん』(SBクリエイティブ)など。

所在地：東京都新宿区高田馬場 一丁目28番10号 三慶ビル4F  
HP : <http://studio947.net/>

新宿区立高田馬場  
創業支援センター  
施設長  
中小企業診断士  
田中 健一郎



株式会社でいぐにて

代表取締役

吉田 真一さん

株式会社でいぐにては、吉田さんが19歳のときに事故で頸髄を損傷してから、介護を受ける生活の中で介護の問題と向き合い、「介護する人もされる人も気持ちよくなればいい」いう実感から設立した会社です。『世界いち気持ちいい介護』の理念の下、高田馬場に拠点を置く訪問介護事業所として地域の在宅介護を担っています。



#### 創業しようと決めたきっかけは何ですか？

「育てても育ても人が離れていきます。疲れました」。私の生活を支え続けてくれた介護事業所のサービス責任者が、深夜、私のケアをしながらそう言って泣いたこと。この人たちの労働環境をよくしたいと思いました。障害を持つ女子大生から、「就職が決まったが出勤準備のため午前5時にケアに来てくれる事業所がない。どうしたら夢を叶え自立できますか」と相談されたこと。ソフト面をサポートする社会的資源が足りないのです。「同じ人にケアに来てもらいたいと思うことは贅沢なのかしらね」と妻がつぶやいたこと。昼夜ケアが入る生活の中で介護士さんが頻繁に代わることが家族のストレスになっていました。この三つの課題を解決する訪問介護事業者が見当たらなかった。ならば自分がやるしかないと思いました。

#### 創業する際に大変だったことは何ですか？

まず、妻の同意を得ること。子どもが生まれ、今の住まいを購入したばかりだったので、資料を作り何度も何度も妻にプレゼンをして、1年後に「家計に影響がなければ」という条件で同意を得ました。開業時には、訪問介護事業所の要

件を満たす介護士3名の確保で苦労しました。4月開業予定で3人目が決まったのは3月23日でした。本当に追い詰められて、開業を遅らせることも考えましたが、なんとか要件を満たすことができました。

#### 資金はどうしましたか？

事業所立ち上げの資金と運転資金で約1千万円が必要でした。妻との約束で家計に負担はかけられません。1年間、食費と交際費を削る節約生活をして自己資金300万円を作りました。やるとなったらとことんやる性格なので、ウエストが10cm細くなるほどストイックな生活をしました。また、高田馬場創業支援センターの紹介で東京三協信用金庫と日本政策金融公庫から合計550万円の協調融資を受けました。親からも100万円を借りましたが、おかげさまで今年中に返済できそうです。

#### 新宿区を事業拠点にしようと思ったのはなぜですか？

新宿が好きなんです。大学進学を機に上京してずっと新宿に住んでいます。故郷は岐阜県の柳ヶ瀬という繁華街で、繁華街独特の何でも受け入れてくれる雰囲気が新宿と似てい

るような気がしています。また母校の早稲田大学には、門に門柱や屏がないんです。これは学びたい人を拒まず受け入れる開かれた大学である象徴だと言われています。この気質を早稲田・高田馬場界隈にも感じるんです。

#### 高田馬場創業支援センターを利用されていかがでしたか？

前職ではマーケティング担当でしたからプラン作りはできたのですが、実際、自分が創業するとなると知識ゼロです。特に、決断することに対するプレッシャーが大きかった頃、気軽に相談できる場所があることが本当にありがたかったです。三輪車でやって来た私が、高田馬場創業支援センターという補助輪を付けた自転車に乗り換えて助走し、今ようやく補助輪を外して走りだしたという感じです。

#### 今後の事業展開、ビジョンについて

考えていることが三つあります。まず訪問介護事業所を3拠点にします。介護職のキャリアアップの場としても必要です。二つ目は、サービス付き高齢者住宅です。大学生も巣立ち地域に開いて介護現場を知ってもらう拠点を作りたい。三つ目は、障害のある子どもを預かる放課後等デイサービス事業です。例えばボランティアで子ども食堂をやりたい人はたくさんいます。そこから介護の担い手が出れば雇用の窓口になります。この三つの事業で、まさに「ゆりかごからお看取りまで」お世話ができます。「でいぐにてがあるから、何があっても大丈夫」というバリューを持つ組織を作りたいです。



#### 高田馬場創業支援センターからのコメント

吉田さんは人一倍の自由な心と活発な行動力の持ち主です。創業者として訪問介護事業所を開業されたことで、新たに与えられる課題や逆境を栄養にして吉田さんの思考と行動はさらに加速しているように感じます。「みんなが気持ちいい社会」実現に向けて、障害の有無や年齢などを超えた事業拡大を目指す吉田さんの今後の活躍に期待が高まります。



#### 創業を目指している方にメッセージをお願いします

失敗を恐れないでチャレンジしてください。失敗に寛容でない社会にも問題がありますね。でも恐れることはありません。経験のないことにチャレンジするんです。失敗するものだと設定すれば大きく傷つくことはない。むしろ失敗こそが経験値になる。私にも眠れない食べられない日々がありました。今は苦しみ抜いた末に顔つきも変わって深みのある面白い人間になれると思うと逆境も楽しみに思えます。よく眠りよく食べて、失敗を恐れずチャレンジしてください。

#### Profile



#### 株式会社でいぐにて

代表取締役 吉田 真一

2015年8月  
高田馬場創業支援センター利用終了

19歳のときに頸髄損傷で四肢麻痺に。電動車椅子の介護福祉経営士。早稲田大学政治経済学部卒。株式会社もしもしホットラインでマーケティング担当としてクライアントへの提案に携わった後、2014年12月に株式会社でいぐにてを創業。毎日在宅で介護を受ける中で生まれた「こうだったらいいのに」を解決し、『世界いち気持ちいい介護』の理念でお客様と社員を幸せにすべく奮闘中。

所在地: 東京都新宿区高田馬場 一丁目29番7号 スカイパレス504  
HP : <http://digunity.co.jp/>



新宿区立高田馬場  
創業支援センター  
施設長  
中小企業診断士  
田中 健一朗

office MC-i (オフィス・エムシー・アイ)

## 代表 富田 欽一さん



## 創業しようと決めたきっかけは何ですか？

実は、創業するのは二度目になります。実況アナウンサーから司会者に転向した頃、関西にあるケーブルテレビの会社に勤めていました。その会社からケーブルテレビの営業を請け負う形で同僚と創業したのが一度目の創業になります。加えて、私が司会をする業務や司会者の派遣も一緒にっていました。その後、司会業を中心するために個人事業主として再度独立。現在は首都圏を中心に司会者として活動することに加えて、司会者を育成するための司会塾を運営しています。これまでに20名が卒業して、司会者として結婚披露宴などで活躍しています。

## 創業する際に大変だったことは何ですか？

一度目の創業時は、創業と同時に仕事がある状態だったので、そんなに苦労した記憶はありません。今取り組んでいる司会業や司会塾は、関西から東京に出てきて立ち上げたので、人脈が少なく、その点が大変でした。ただ、関西の有名ホテルの支配人から東京のホテルを紹介してもらったり仕事につながったり、前職で知り合った方に司会を探している方を紹介してもらったり、徐々に事業として形になっていきました。



した。そもそも、アナウンサーや司会者を始めた頃の仕事も、師事していたアナウンサーや司会者の師匠から紹介してもらったものばかりでした。人脈は本当に大切だと思います。

## 現在の事業で法人化を目指しているのはなぜですか？

司会者として、ある程度の経験や実績があるので法人化せず、一人の司会者として自分の生計を立てていくことも可能だと思います。ただ、ありがたいことに司会塾に来てくれる若い人たちが増えてきたこと、その中から自分の右腕として活躍してくれる人も出てきています。塾に来てくれた方の仕事を少しでも多く作り出すために法人化し、体制を整えていきたいと考えるようになりました。また、私がアナウンサーや司会者として実績を積めたのは、お世話になった師匠の方々のお陰です。私もそれなりの年齢になったので、恩返しのつもりで業界の後輩のためになるような仕事をしたいと強く思っています。

office MC-i (オフィス・エムシー・アイ)

## 代表 富田 欽一さん

新卒の就職活動でアナウンサーを目指していた富田さん。就職でその夢は叶わなかったものの、30歳前に地方テレビ局で競輪の実況アナウンサーとしてデビューを果たします。その後、結婚披露宴などの司会者へ転向。以来28年間で1,700件の司会を担当。現在は司会者として活躍すると同時に、司会者を育成する司会塾を運営。確かな技術を持つ司会者のプロダクション会社を設立するため、高田馬場創業支援センターを利用しています。

## 新宿区を事業拠点にしようと思ったのはなぜですか？

法人化を目指すあたり、事業拠点は新宿区か港区にしようと考えていました。青山から外苑前のエリアは、タレントプロダクションが多く立地しています。新宿もタレントプロダクションがあり、いろんな人たちが多く集まってる場所です。クライアントに対するイメージや、所属してくれる司会者の交通の利便性、事業の親和性を考えると選択肢は二つしかありませんでした。その中でも、新宿三丁目駅、四谷三丁目駅、四ツ谷駅などが立地する新宿を拠点にすることにしました。

## 高田馬場創業支援センターを利用されていかがでしたか？

過去に創業した経験があるから分かるのですが、オフィスを構えるにはとてもお金がかかります。高田馬場創業支援センターは、立地もよく、オフィス機能だけでなく打ち合わせスペースがきちんと整備されているので非常にありがとうございます。複合機も重宝しています。また、自宅で仕事をすることも可能ですが、毎朝出社することでリズムができるのも良いと思います。あとは、事業のことを相談できる職員の方が常に事務所にいてくれるところ。色々相談することができるでとても心強いです。

## 今後の事業展開、ビジョンについて

司会者の仕事は、個人事業主だとクライアントから直接受注できないことがほとんどです。さらに一部のお取引先から「富田さん、そろそろ会社にしてほしいです」とご要望をいた



## 高田馬場創業支援センターからのコメント

富田さんがお持ちの司会者としてのプロ意識には、私たちも大変刺激をいただいています。司会塾にお邪魔した際は、時に厳しく、時に優しく司会者を目指す方々に対して真剣に向き合う姿が印象的でした。副業の一つとして司会者を目指す方も増えているということで、今後の事業展開が非常に楽しみです。



だくようになりました。大変ありがとうございました。法人化に向けて機が熟してきたかなと思っています。なるべく早期に法人設立を行い、司会塾に通ってくれた人たちに仕事をしてもらえる機会をさらに増やしていきたいと考えています。

## 創業を目指している方にメッセージをお願いします

私は、アナウンサーとして仕事を受注できるようになるまでに、仕事は未経験でもひたすら訓練を繰り返してきました。その上で当時の師匠から仕事を紹介してもらえた。そのような過去の経験もあり思うことですが、経験と全然違うことをやらないこと、自分にしかできないことを大切にすることが肝心かなと思います。

**Profile**

office MC-i (オフィス・エムシー・アイ)  
代表 富田 欽一  
2016年8月から  
高田馬場創業支援センター利用中

レース番組実況アナウンサー、CMナレーター、ケーブルテレビ局勤務を経て独立。司会者として関東、関西の一流ホテルを中心に1,700件の実績。優しい語り口とシャープな進行が持ち味で、伝統と格式を守りながら、常に新しい感性を取り入れた司会進行が好評。現在も帝国ホテルの人気司会者として活躍中。「富田欽一司会塾」主宰。後輩の育成にも注力している。

所在地： 東京都新宿区高田馬場 一丁目32番10号  
HP : <http://mci-japan.com/>

新宿区立高田馬場創業支援センター  
施設長  
中小企業診断士  
田中 健一朗